

弘前城菊と紅葉まつりにおける リユース食器活用モデル事業について

1 リユース食器とは

お祭りやスポーツ観戦、音楽フェスといったイベントでは、通常、使い捨てのプラスチック容器が使われています。その結果、イベントの後には、大量のごみが発生しています。

リユース食器とは、1回使うだけでごみになる使い捨て容器ではなく、何度も繰り返し洗って再利用(リユース)できる食器のことで、プラスチック容器のごみ削減に繋がります。

青森県では、本年3月に「リユース食器利用マニュアル」を発行したほか、県内のイベントでリユース食器を使用するモデル事業(プラスチックごみ対策強化事業)を2回実施することになりました。その一つとして弘前市が手上げし、弘前観光コンベンションと協力して、「弘前城菊と紅葉まつり」でリユース食器を使用しました。

※ 県内では、2019年に青森大学の学園祭(環境省とのコラボ)で、2021年にはラインメール青森FCの試合でリユース食器を使用

1回きりでなく、
再利用
できる

プラスチック
容器ごみが
削減できる

繰り返し使用
することで
**環境負荷の
軽減**に繋がる

2 弘前城菊と紅葉まつりにおけるリユース食器の概要

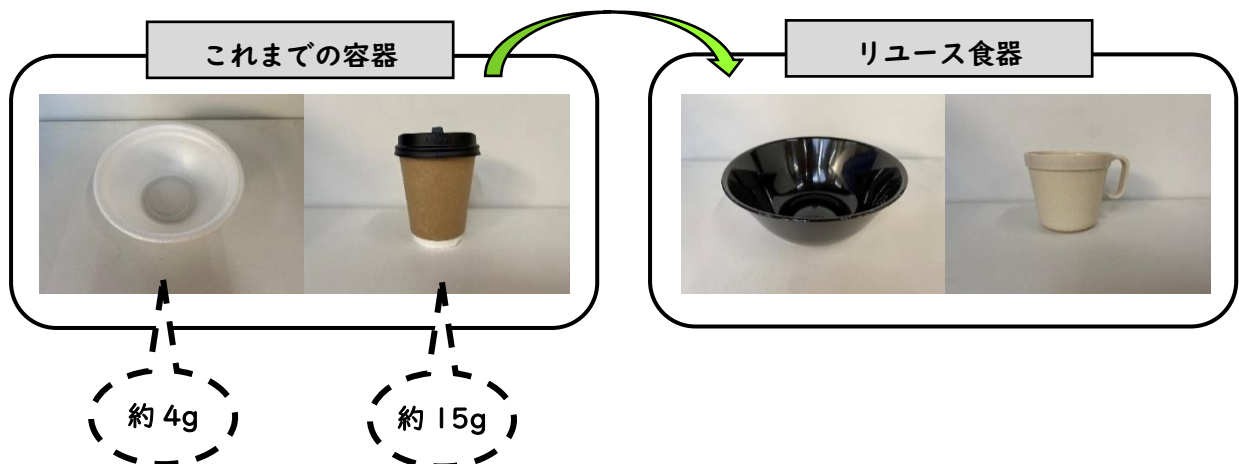
実施期間：令和3年11月1日(月)～令和3年11月7日(日)

対象店舗：弘前観光コンベンションが運営する喫茶店

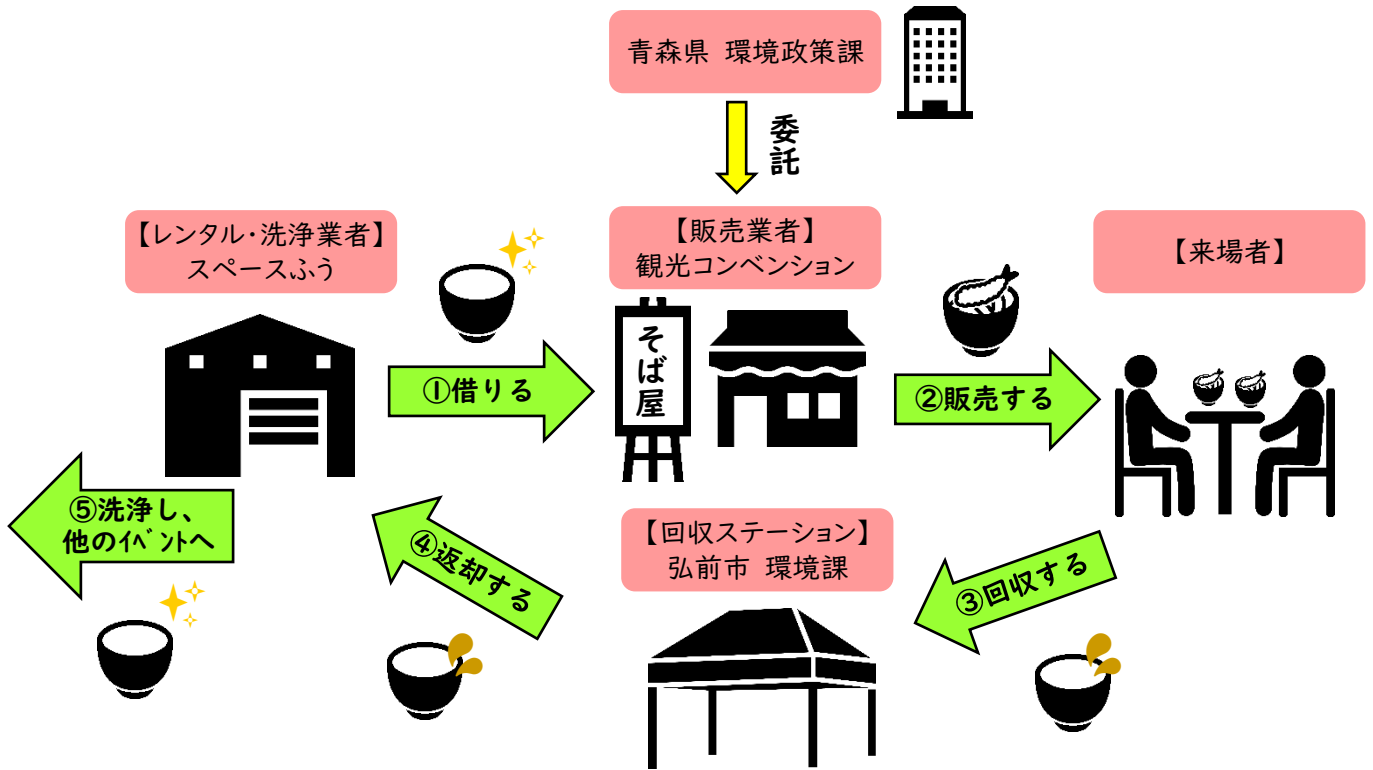
メニュー…そば、うどん、コーヒー、紅茶、アップルパイ
リユース食器を使用

リユース食器レンタル数：そば・うどん用として、どんぶり 1,000 個

コーヒー・紅茶用として、カップ 500 個



3 リユース食器の仕組み



4 回収の工夫

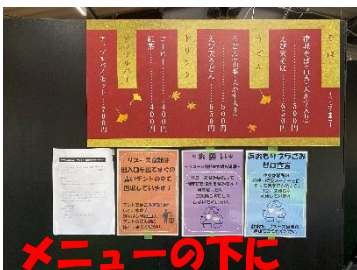
リユース食器はレンタル品のため、食器を紛失または破損させると、レンタル料とは別に超過料金が発生します。このことから、食器を確実に回収できるよう、様々な工夫を行いました。



来場者がリユース食器を持って帰ったり回収場所を誤らないように喫茶店の出入口を出てすぐの場所に回収ステーションを設置



来場者がリユース食器をごみ箱に捨てないように、回収ステーション内にもごみ箱(分別ステーション)を設置し、ごみは食器を返却した後に捨てるよう導線を工夫



メニューの下に



窓にも



机の上にも

喫茶店内に多くのポップを設置し、次のことを周知
 ・リユース食器を使用していること
 ・リユース食器の回収は、喫茶店を出てすぐのテント内で行っていること

5 実施結果

●リユース食器の使用数について

・そば・うどん用どんぶり

日にち	使用数	返却数	紛失数	回収率	未使用数 (累積)
11月1日(月)	149	149	0	100%	851
11月2日(火)	152	152	0	100%	699
11月3日(水・祝)	447	447	0	100%	252
11月4日(木)	111	111	0	100%	141
11月5日(金)	141	141	0	100%	0
合計	1,000	1,000	0	100%	0

※ どんぶりのリユース食器は、金曜日の午後にレンタル分をすべて使い切り、以降は従来通りの使い捨てプラスチック容器を使用しました


・コーヒー・紅茶用カップ

日にち	使用数	返却数	紛失数	回収率	未使用数 (累積)
11月1日(月)	24	24	0	100%	476
11月2日(火)	18	18	0	100%	458
11月3日(水・祝)	79	79	0	100%	379
11月4日(木)	28	28	0	100%	351
11月5日(金)	25	25	0	100%	326
11月6日(土)	65	65	0	100%	261
11月7日(日)	41	41	0	100%	220
合計	280	280	0	100%	220

●リユース食器の使用におけるごみの削減量

どんぶり … 使い捨て容器の重さ(4g)×1,000個=4,000g (4kg)

カップ … 使い捨て容器の重さ(15g)×280個=4,200g (4.2kg)


 約 8.2kg のごみ削減を達成!!

●ごみ分別ステーションにおける資源物回収量

ペットボトル … 8.84kg

かん … 4.98kg

びん … 35.90kg

 約 49.72kg が資源に!!